

第6回 事務局会議事録

日 時：2007年3月29日（木） 15:00～19:00

場 所：学会センタービル 会議室（B1）

出席者：村山会長、柴崎副会長、今井総務担当理事、長坂財務担当理事、
河端広報担当理事、佐藤広報委員、太田 GIS 技術資格局副局長、
大沢大会実行委員長、浅見編集委員長、福井事務局長

【議 題】

1. 本年度報告

決算状況（事務局）

日本学術会議関連報告（会長）

GIS 技術資格認定期報告（GIS 技術資格副局長）

北海道会場報告（大会実行委員長）

2. 次年度予算案

予算説明（総務担当）

NL 予算 増額（会報担当）

査読謝礼に関して（編集委員長）

学生会員の見直し（総務担当）

3. 次年度事業計画内容

日本地球惑星科学連合 2007年大会に関して（会長）

オンライン入会申込・会員情報変更フォームに関して（広報）

機関リポジトリに関して（編集委員長）

デジタル・ライブラリについて（大会実行委員長）

第2機関誌としての電子ジャーナル発行に関して（会長・編集委員長）

理事会・総会議事次第案（事務局）

会費請求と同時に行う講演論文集予約受付に関して（事務局）

長期会費滞納者への対策

未収金に関して（事務局）

大会発表応募規定の変更

SIG の書類提出方法に関して

活動活性化について

IT 理事会出席率向上

選挙選挙管理委員会新設

次年度事務局会開催日に関して

【1. 決算状況報告】

事務局から平成 18 年度（3 月 28 日現在）の決算状況について説明がなされ、学生会員の会費納入率（47%）向上対策の要請がなされた。

【1. 日本学術会議関連報告】

村山会長から IGU（国際地理連合）に関する要請 3 点、「4 月の役員会への会長の出席依頼」「高校生向けの国際地理オリンピックへの協力」「2014 年地域大会招致運動への協力」の報告がなされた。

【1. GIS 技術資格認定局報告】

太田 GIS 技術資格局副局長から協会設立についての中間報告（4 月 19 日準備会）認定状況などについて報告がなされた。

「GIS アクションプログラム 2010 において GIS 専門技術資格認定制度の採用は見送られたが、重要性の認識はあるとの回答があり、今後に期待したい」

「認定証の仕様を変更したい。額付きで、2,000 円くらいのもの」

「年度末から年度始めにかけて出費がかさむので、独立採算制か、本部事務局との出入金について考慮して欲しい」

「会計の透明性を高めると同時に、事務量の軽減をはかりたい。」

「協会 の位置づけがはっきりしない段階では、会計方針を確定するのは困難。」

「予算として、今は審査員にはボランタリーに尽力いただいているが、今後は 1 件につき 1,000 円程度の審査委託費を認めて欲しい」

【1. 北海道会場報告】

大沢大会実行委員長から、2007 年度学会研究発表会場を下見した際の報告がなされた。

「発表会場の数、収容人数とも十分である」

「懇親会は学内のファカルティーでの開催となる」

【2. 予算説明】

今井総務担当から、2007 年度予算の概要が説明され、会長・総務担当・事務局長で理事会・総会までに再度詰めを行うこととなった。

「会員の増加が頭打ちの状態なので、現実的な会費収入を予算の柱とし、大幅な収益は見込まなかった」

「地方事務局、SIG 活動の活発化が、外から見て学会の活動が分かる条件でもある。全体として活動低下は避けたいところであり、活発な地方事務局、SIG には相応の補助をしたい。活動費は個別の枠でなく、全体枠としたい。」

「マニュアルが不徹底で活動報告が挙がりにくい」

「会長に 2007 年度の方針のなかで SIG 活動の強化方針をいただきたい」

【2. NL 予算 増額】

内容の充実化のため、了承する方向となった。

また、別件として、学会 HP に会員用ページを構築すること（含：諸費用）については継続審議となった。

【2. 査読謝礼に関して】

査読謝礼（特に非会員に対して）を支払うべきではないかとの声が、副編集長より挙がっていることが説明されたが、他学会などの状況、事務の煩雑さから見合わせることになった。

【2. 学生会員の見直し】

総務担当から会費納入状況の悪い学生会員の管理に時間を割くのではなく、NL 会員というカテゴリーを設けて将来の会員の呼び水としてはどうかと提案があったが、見送られた。

「学生ゆえに会費を割り引いているのであり、滞納など、学会のサービスにそぐわない者は資格を直ちに止めるべき」

「サービス内容が正会員と同等であるというメッセージを明確にする必要がある」

長期会費会員滞納者、特に学生会員に関しては、6 月の会費請求〆切日 7 月 31 日をリミットとし、未払いの者は郵送物をストップする。年度内に支払いが確認できない際は、当該年度の 3 月 31 日をもって「自動退会」として月例報告に掲載する。

【3. 日本地球惑星科学連合 2007 年大会に関して】

会長より、連合大会のプログラムが 4 月 3 日に公開される旨、説明があった。学会でも HP で公開する。

【3. オンライン入会申込・会員情報変更フォームに関して】

広報委員よりオンラインでの入会申込、会員情報更新のフォームについて説明があった。項目に多少の変更を加え、事務局会メンバーでまずは運用前の実験をすることとなった。

【3. 機関リポジトリに関して】

編集委員長より、各機関から要望のある機関リポジトリ参加の是非について発言

があり、基本的に参加の方向となった。

「会員の損とはならない。」

「ポリシー作成の必要がある。」

「IT理事会での審議で充分対応可能である。」

【3. デジタル・ライブラリについて】

大会実行委員長より、デジタル・ライブラリについての素案が提示された。前項との兼ね合いで、編集委員長・大会実行委員長とでポリシーを作成、時間差をつけての全公開の方向となった。

「全公開が世間の流れである。」

「デジタル化を進めるにしても、パスワードの管理等に多大な労力を要とする。」

「例えば発表後2年を経た後の公開とするなど、タイムラグで対応してはどうか。」

【3. 第2機関誌としての電子ジャーナル発行について】

継続審議事項であった第2機関誌としての電子ジャーナルは、特集号発行の方向で考えることとなった。

「『理論と応用』に付随して機関誌的要素を加えたものならば、編集作業総量はあまり増えないのではないか。」

「ニュースレター的に発行頻度が高いものになれば、別途委員会を立てた方が良いかもしれない。」

「まずは前者で始動して様子見をする方向で行く。J-STAGE活用について課題とする。」

【3. 理事会・総会議事次第案】

2007年度理事会・総会議事次第案および事業計画が示され、概ね了承された。

【3. 会費請求と同時に行う講演論文集予約受付について】

事前に大会講演論文集（本およびCD-R）の予約を取ることに関して了承された。

【3. 長期会費滞納者への対策】

長期会費滞納者（除名）名をニュースレターに掲載する案が出されたが、ペナルティとしては理事会での報告事項とすることで了承された。

【3. 未収金について】

回収不能の未収金を貸倒れとして処理するために、「長期会費滞納者に関する内規」と「会計マニュアル」の改定が必要となることが説明され、了承された。

【3. 大会発表応募規定の変更】

発表者は当該年度までの会費を納入する旨、規定に盛り込むことが了承された。

【3. SIG の書類提出方法に関して】

継続設置申請は毎年、活動報告を兼ねて提出してもらうようとする。

【3. 活動活性化】

現状では、SIGの活動が不活発であり、会員全体から活動成果が見えない。ホスティングサービスを利用して、300MBがある。現在まだ使われていないので、SIG・地方事務局のHP充実などを図るようにする。

【3. IT 理事会出席率向上】

IT理事会の開催時、理事メールに開封通知を付け、通知が戻ってきたものは委任と見なして出席率の向上を目指す。

【3. 選挙管理委員会新設】

ニュースレターアイテムに新理事・事務局長公募詳細を掲載しなければならない。また年明けには会長・副会長選挙が開催されるので、6月までに選挙管理委員会を新設し、監督してもらう必要があることを承認。

【3. 次年度事務局会開催日に関して】

今後、事務局会は原則として奇数月・第4火曜日 15:00~17:00とする。

次回は5月22日、議題は未定。